

市ヶ尾中Time

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

発行者：校長 竹下 恭子
市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

◆◇令和3年を振り返って～コロナ禍なりの工夫で教育活動を～◇◆

いそがしく 時計の動く 師走かな 正岡 子規

12月は旧暦で「師走」。コロナ禍で迎える2年目の12月、そして年の瀬です。

今年も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令される中、さまざまな制限がかかった中での教育活動となりました。ただ、昨年と違って今年は少しずつですが、「時」が動き出していくのを感じる瞬間が何度もありました。

先日、2年生の保健体育の授業で外部講師によるダンスの授業を実施しました。これは、文化庁が主催し学校を対象に募集する「子どものための文化芸術鑑賞・体験支援事業」の一環で毎年継続しているものです。講師のステップや音楽に合わせて生き生きと踊る2年生の様子から、実際に体験することを通して、興味や関心の幅が広がったのではないかなと感じました。

15日(水)には、新旧生徒会本部役員が中心となって企画した全校生徒集会在が久しぶりに開かれました。全校で集うことがまだまだ難しいため、放送室と教室をオンラインで繋ぎ、係が駆使して考えた『市中クイズ』にクラスで一丸となり取り組む、というものでした。企画や進行の細かなところまで練られてあり、市中生みんなに楽しんでもらいたい、という本部役員の仕掛けや工夫が見事でした。

オンラインの開催も含めて、昨年度は開催することのできなかった行事や活動にも、関係する機関や地域の方のご協力を得ながら、形を変えたり、方法を工夫したりして動き出しています。保護者の皆様には見通しが見えない状況が多々あったにもかかわらず、学校の教育活動を支えてご協力いただきました。来年の感染状況の推移が気になるころではありますが、令和3年の1年を振り返り、次の年へつなげてまいりたいと思います。引き続きよろしくお願い申し上げます。

市中ブロックでつながる～朝のあいさつ運動～

12月3日(金)～12月10日(金)、小中3校の児童生徒による朝のあいさつ運動を実施しました。中学校からは生活委員の生徒が参加、荏田西小、東市ヶ尾小からは高学年の皆さんが参加しました。12月は横浜市いじめ防止啓発月間でもあります。「あいさつから始まるグッドライフ」など、生活委員の皆さんお手製の「のぼり」を掲げて声掛けをしました。地域の方々にも大変好評で、期間中に行われた市中ブロック学校運営協議会でも話題にあがりました。「だれにとっても居心地のよい学校づくり」への取組はこれからも様々な機会を進めていきます。



交通安全教室実施 1年生

11月8日(月)1年生を対象にして交通安全教室を実施しました。今回の安全教室は、プロのスタントマンによる模擬交通事故を目の前で見ることにより、交通事故の危険性や自転車を安全に利用する大切さを改めて理解し、交通安全への意識を高めることをねらいとしたものです。

当日は、2人乗りやイヤホン装着時の自転車走行の危険性、車の死角や内輪差による交通事故の実際など、スタントマンの再現により、身近に感じられました。どうしたら未然に事故を防ぐことができるか説明もあり、具体的に分かりやすい安全教室となりました。この様子は青葉区web版タウンニュースでも配信されています。

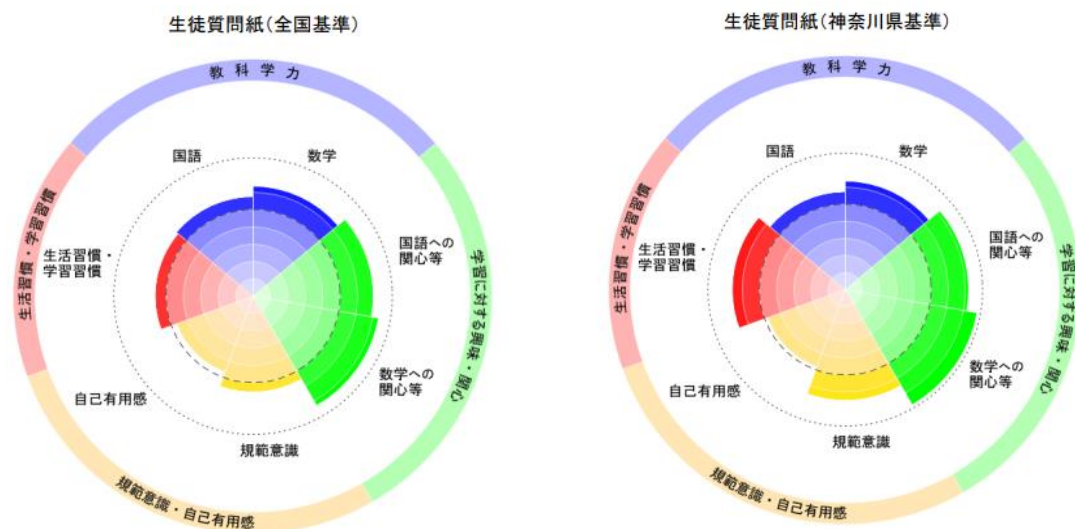


令和3年度全国学力・学習状況調査分析

令和3年5月27日に3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1. 教科学力及び学習に対する興味・関心に関する分析

教科の学力は非常に高く、両教科(国語・数学)において、全国及び神奈川県の前を大きく上回る状況である。



学習に対する興味・関心についても本校生徒の関心は高く、教科の勉強が大切だと理解し、意欲をもって学習に取り組んでいることが分かる(設問43,44,52,53)。「学習した内容について見直し、次の学習につなげることができたか(設問38)」に対して「当てはまる」と回答した生徒が全国平均を約20ポイント上回っていることから、普段から自らの学習を調整し、粘り強く学習に取り組んでいることが分かる。

今後も主体的・対話的で深い学びを実現し、本校が目指すESDで目指す力の育成をはかる授業づくりをさらに推進し、生徒が自ら考え、思考力・判断力・表現力を伸ばしていけるよう、努力していきたい。

		当てはまる	やや当てはまる	余り当てはまらない	あてはまらない
(43)	国語の勉強は好きですか	84	56	23	10
		48.6	32.4	13.3	5.8
		25.7	37.4	24.5	12.3
		23.5	37.3	26.8	12.4
(44)	国語の勉強は大切だと思いますか	138	32	1	2
		79.8	18.5	0.6	1.2
		62.1	30.2	5.3	2.3
		60.0	31.6	6.0	2.2
(52)	数学の勉強は好きですか	88	48	22	15
		50.9	27.7	12.7	8.7
		32.5	27.7	21.8	17.8
		31.2	27.9	23.3	17.5
(53)	数学の勉強は大切だと思いますか	131	35	5	1
		75.7	20.2	2.9	0.6
		47.9	34.8	12.1	5.0
		49.3	34.8	11.4	4.3
(38)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	78	78	13	4
		45.1	45.1	7.5	2.3
		25.5	49.0	20.4	4.7
		26.3	48.3	20.5	4.6

※1段目：市ヶ尾中学校人数、2段目：市ヶ尾中学校平均、3段目：神奈川県平均、4段目：全国平均

2. 自己有用感に関する分析

「自分によいところがあるか」の項目では、全国平均とほぼ同じ結果となった。2年前の調査では、同じ質問で約7ポイント下回っていたが、道徳やHT(総合的な学習の時間)などを通して、集団の中で自分の役割を意識させ、集団に貢献する力を育んできた結果が、自己肯定感を高めることにも現れたものと思われる。

		当てはまる	やや当てはまる	余り当てはまらない	あてはまらない
(6)	自分には、よいところがあると思いませんか	59	79	19	16
		34.1	45.7	11.0	9.2
		34.7	41.1	16.2	7.9
		34.5	41.7	16.6	7.1

全国平均に対して課題を感じるのは、チャレンジ精神である。「難しいことでも失敗を恐れず挑戦しているか(設問9)」の項目では全国を3ポイント程度下回っている。本校生徒は規範意識が高く、何事にも真面目に取り組む一方で、失敗を恐れ次のステップ(段階)に進むことを躊躇する場面も見られる。授業はもちろんのこと、委員会活動、学校行事、部活動などを通して、失敗を恐れない、たくましい心を育てていけるような指導を継続していきたい。

		当てはまる	やや当てはまる	余り当てはまらない	あてはまらない
(9)	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	29	99	40	5
		16.8	57.2	23.1	2.9
		18.6	44.5	29.7	7.0
		20.0	45.9	28.3	5.6

3. 生活習慣・学習習慣に関する分析

「携帯電話等について、家の人との約束を守っているか(設問4)」の項目では全国平均より約5ポイント高く、「1日にどのくらいゲーム等をするか(設問5)」との問いに対しては、4時間以上と答えた生徒が全国平均より約5ポイント少なかった。また全くしないと答えた生徒も全国平均より3ポイント程度多かった。

		きちんと守っている	だいたい守っている	余り守っていない	守っていない	約束はない	持っていない
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	76	61	11	3	21	1
		43.9	35.3	6.4	1.7	12.1	0.6
		31.3	40.7	7.4	1.7	16.2	2.4
		30.9	37.0	6.6	1.5	18.9	4.8

		4時間以上	3~4時間	2~3時間	1~2時間	1時間以下	全くしない
(5)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	20	22	45	51	17	18
		11.6	12.7	26.0	29.5	9.8	10.4
		19.9	16.4	23.3	20.3	12.0	7.7
		16.7	15.6	24.7	23.0	12.4	7.3

「自分で計画を立てて勉強している(設問17)」とする生徒が全国平均を約15ポイント、また「学校に行くのが楽しい(設問13)」と答えた生徒が約12ポイント上回っていることから、望ましい生活習慣が家庭の協力を得て維持できていると思われる。

今後も学校・地域・家庭が一体となり、持続可能な社会の創造に貢献する力、グローバル化の中で生きる力の育成を目指し、教育活動に取り組んでいきたい。

		よくしている	時々している	あまりしていない	全くしていない
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	60	66	38	9
		34.7	38.2	22.0	5.2
		20.2	43.9	25.5	10.3
		19.4	44.1	27.1	9.4

		当てはまる	やや当てはまる	余り当てはまらない	あてはまらない
(13)	学校に行くのは楽しいと思いませんか	96	60	14	3
		55.5	34.7	8.1	1.7
		42.2	38.4	12.8	6.5
		43.3	37.8	12.8	6.0

※1段目：市ケ尾中学校人数、2段目：市ケ尾中学校平均、3段目：神奈川県平均、4段目：全国平均

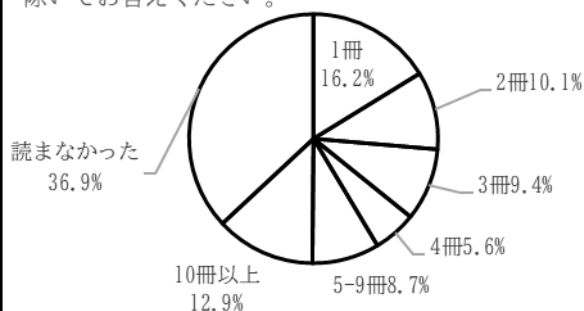
読書週間の取組と生徒対象アンケート結果について（学校図書館より）

10月27日から11月9日は読書週間でした。学校図書館では昨年度に引き続きLife with Reading～読書の秘訣カード～のワークショップを行いました。図書委員ひとりひとりが自分の読書活動を振り返り、グループで対話して「読書の秘訣」を学びあいました。終了後の感想には「読書の仕方の中で他の人との共通点を見つけられてよかった。」「自分なりの読み方があることが分かったし、意外とみんな同じことをやったこともわかった。」とありました。また、「本の話を通して仲良くなれてよかった。」「こんな風に本のことを人と話したことがなかった。」「読書のやり方を共有するということが新鮮だった。」「友達を巻き込んでみたくなった。」と、人と対話すること自体の楽しさを発見し喜びを感じている様子が見られました。次回実施する際は対象を全校に広げて行いたいと思います。生徒のみなさんの参加をお待ちしています。

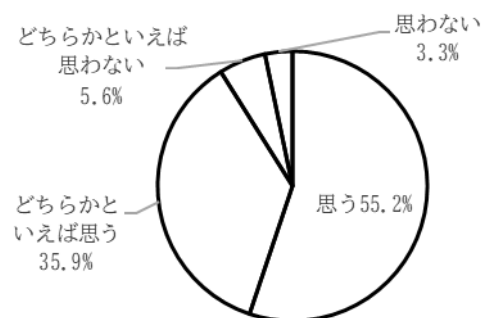


11月に生徒の読書についてアンケート調査を行いました。読売新聞社の全国読書世論調査（18歳以上対象）の記事と比較するため同様の質問としました。18日に1年生と3年生、22日に2年生が朝学活の時間にCrome Bookより回答しました。回答数は426件/全校生徒572名（回答率74.5%）でした。全国読書世論調査では、「読書が人生を豊かにしてくれると思う」人は全体の88%でしたが、本校では91.1%の生徒が「読書が人生を豊かにしてくれると思う」と回答しました。また、「子どものころに本を読む習慣を身につけることは大切だ」という質問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒が91.1%いる一方で、36.9%の生徒は直近1か月間に読書をしなかったと回答しました。しかし、新聞社の調査での50%の人が読書をしなかったとの回答と比較すると少数でした。また、5冊以上読んだ人の割合は新聞社の調査では7%でしたが、本校では全体の2割超が5冊以上読んだと回答しました。読書好きの生徒はたくさん本を読むけれど、読書から離れている生徒は全く読まないという状況が見えます。大人にも多々あることですが、本を読んだ方がよい、読みたいと思っているけれど読んでいない、読めていない状況が生徒にもあることがわかりました。学校図書館の本の貸出数は昨年度に比べて大幅に増加しています。これからも中学生の読書しやすい環境を整えてまいりたいと思います。

質問1：あなたは、この1か月間に、紙の本と電子書籍を合わせて、何冊くらい本を読みましたか？週刊誌や月刊誌などの雑誌を除いてお答えください。



質問10：あなたは子どものころに本を読む習慣を身につけることは大切だと思いますか？



冬季休業中のお願い

冬季休業中に生徒の新型コロナウイルス陽性が判明した場合

- 12月27日（火）28日（水）・日直がいますので、学校に連絡をしてください。（045-973-3400）
- 1月4日（火）・閉庁日なので、北部学校教育事務所へ（045-944-5978）連絡をしてください。
- ・12月29日（木）～1月3日（月）に判明した場合は、1月4日以降に上記連絡先までお願いします。